

吾妻山の火山活動解説資料

仙台管区气象台
火山監視・情報センター

昨日（11月11日）、吾妻山（一切経山）で観測された噴気の高さは最大で300m程度に達しました。その後は概ね高さ200m程度で推移しており、噴気の勢いや噴気音も弱まってきています。

昨日及び本日の仙台管区气象台及び福島地方气象台による気象庁機動調査班の赤外熱映像観測では、噴気箇所の地表面温度の上昇は確認されていません。

吾妻山の噴火警戒レベルは1（平常）が継続しています。噴火予報警報事項に変更はありませんが、火口内で噴気、火山ガスの噴出等が見られますので、火口内では警戒が必要です。

○噴気の状態（写真1～3）

昨日（11月11日）、吾妻山（一切経山）で観測された噴気の高さは最大で300m程度に達しました。噴気は白色で、付近の浄土平駐車場でも噴気音を確認しています。また、硫化水素臭も感じられます。その後は、概ね高さ200m程度で推移しており、噴気の勢いや噴気音も弱まっています。

昨日及び本日の仙台管区气象台及び福島地方气象台による気象庁機動調査班の赤外熱映像観測では、噴気箇所の地表面温度の上昇は確認されませんでした。また、噴出物は確認されていません。

なお、今回の噴気箇所は1977（昭和52）年に小噴火した噴気孔と同じ所と推定されます。

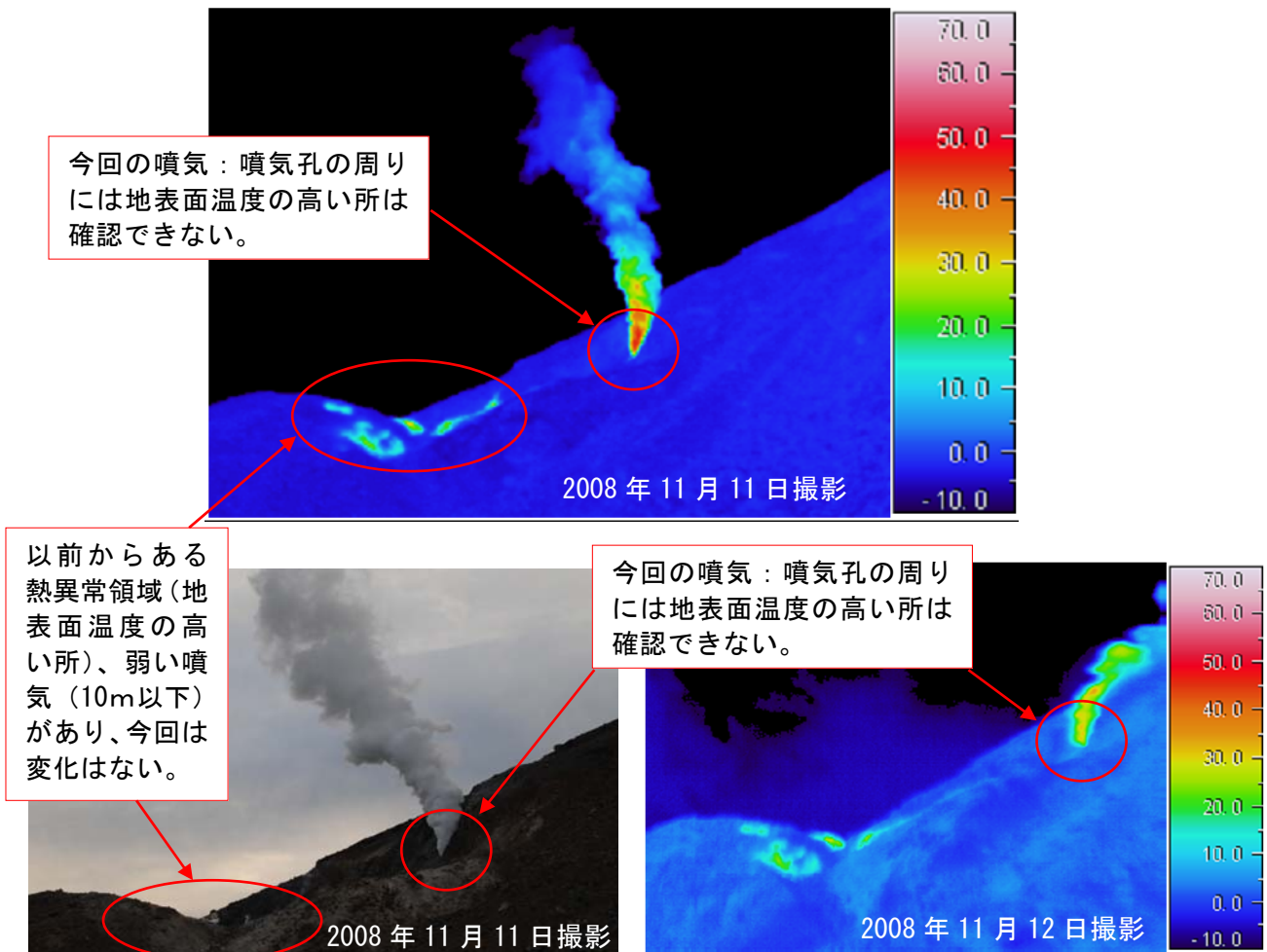


写真1 吾妻山 大穴火口付近の赤外熱画像（上、右下）と可視画像（左下）

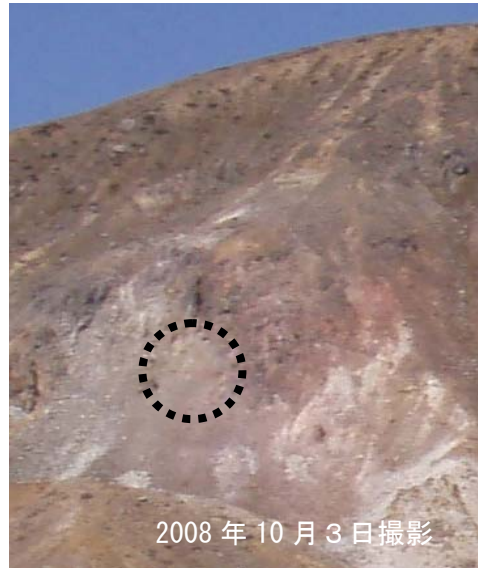


写真 2 吾妻山 大穴火口付近の以前の状況との比較
以前（右図）の黒い破線が今回の噴気箇所付近で、噴気は確認されていませんでした。



写真 3 吾妻山 12 日 10 時頃の噴気の状況 噴気の高さは 200m 程度

参考資料

- 1711(正徳元)年頃 噴火？
- 1810(文化文政時代)年頃 噴火？：大穴(一切経山の南側の山腹火口)で噴火？
- 1893(明治 26)年 5 月 19 日 噴火：燕沢(大穴から西に山一つ隔てたところ)で爆発。火口は主なもの 5 個、噴石、降灰、噴出物 $5 \times 10^5 \text{m}^3$ 。6 月 4~8 日 噴火：噴石、降灰、7 日に火口付近調査中の 2 名死亡。11 月 9~10 日 噴火：鳴動、降灰。
- 1894(明治 27)年 3 月 16 日、4 月 5、12 日 噴火：鳴動、降灰。
- 1895(明治 28)年 噴火：3 月 8~11 日 鳴動、降灰。5 月 18~19 日 降灰。7 月 6~7 日、17 日 鳴動、降灰。9 月 5~13 日 鳴動、降灰。
- 1950(昭和 25)年 2 月 10、19 日 噴火(大穴)：鳴動、降灰。
- 1952(昭和 27)年 5 月 23 日、6 月 18 日 小噴火。
- 1977(昭和 52)年 12 月 7 日 小噴火：1977 年 2 月頃から一切経山の火口の大穴火口の噴気活動が次第に活発化、10 月 26 日からはさらに激しく噴出。酸性の泥水噴出のため、塩川の魚の浮上死、養魚場の被害があった。12 月 7 日早朝に小規模の噴火があり、火口周辺に極少量の降灰。噴気活動は翌年まで盛ん。

(日本活火山総覧：気象庁編による)